

えむぞうくん健康川柳大賞、漫画原作大賞、レシピ大賞 授賞式レポート



レシピ大賞は3部門で表彰、バラエティー豊かな内容に

2016年11月22日、株式会社ドクターズプラザとNPO法人日本医学交流協会医療団主催による「第10回えむぞうくん健康川柳大賞」「第9回えむぞうくん健康漫画原作大賞」「第7回えむぞうくん健康レシピ大賞」の各賞授賞式が行われました。

例年どおり、病院や施設、企業や学校などのフードサービスを手掛ける株式会社LEOC様に授賞式会場および懇親会場のご提供、健康レシピ大賞へのご協賛をいただいたほか、健康レシピ大賞内にて「LEOC賞」が設けられ、表彰が行われました。

授賞式後の懇親会では健康レシピ大賞受賞作品をはじめ、和洋さまざまな料理がピュッフェ形式で提供され、各賞受賞者が舌鼓を打ちました。

大賞受賞者の喜びのコメントと、選考に当たった審査員の先生方の講評を以下にご紹介します。



受賞者本人により「ヘルシー豆腐ウイナーポトフ」が振る舞われました!



LEOCオリジナルメニュー (オードブルバリエ:LEOCピンチョイス)



えむぞうくんのテーマソング「元氣わくわく」を唄う中村友美さん

第10回 えむぞうくん健康川柳大賞

「第10回 えむぞうくん健康川柳大賞」は、全国から2,750作品を応募いただきました。厳正な審査の結果、佳作22作品、特別賞1作品、優秀賞3作品、そして大賞1作品が選ばれました。

なお入賞作品をまとめたものが、来年、作品集として発行される予定です。



健康川柳大賞受賞者と関係者の皆さん

大賞 作品：「退院だこの太陽は俺のもの」

明人さんのコメント
(千葉県)

平成12年12月に心筋梗塞で倒れ、生まれて初めて救急車で病院に運ばれました。救急車というのはいろんな設備や機械が付いているすごいなあと(笑)、貴重な体験をさせていただきました。そのまま1カ月入院し、退院後も定期的に検査に通う日々。最後の検査を終え、お医者さまから「もう大丈夫でしょう」と言われたのが8月の暑い日でした。病院を出た時は嬉しかったですね。その時の気持ちを川柳にしました。

川柳は以前から少しずつかじって「いまも」。雑誌の「川柳コーナー」に応募したりして。えむぞうくん健康川柳大賞も、第7回で初めて入賞させていただいて、以降、毎年応募するようになりました。今回まさか大賞をいただけるとは、天に昇るような気持ちです。

上手、下手に関係なく、ずっと続けていくのが、私の川柳の楽しみ方。この受賞を励みにしながら、今後も作り続けていきたいと思えます。

健康川柳大賞 審査委員長

江畑哲男先生の講評 (全日本川柳協会常任幹事)

受賞者の皆さま、おめでとうございます。今、川柳がとてつもなくブームになっておりますが、中には「本物」と「本物じゃないもの」があるように感じます。例えば、一過性のギャグなどをテーマにした川柳がありますよね。1回聞くと面白いのですが、その面白さは最初だけで、すぐに飽きてしまう。それは本物とは言えません。その点で、今回大賞を受賞した明人さんの作品は、非常に実感がこもっている。大賞にふさわしい「本物」の作品だと思います。

今回は他にも、非常に素晴らしい川柳がたくさん寄せられました。ありがとうございます。日々の生活の中から生まれた感情や笑い、それを表現するのが川柳の醍醐味なのだと思います。

入賞作品

大賞：退院だこの太陽は俺のもの(千葉県/明人さん)

優秀賞：ダイエット冷蔵庫にも言い含め(東京都/紫よんさん)

優秀賞：健康な歯からはグチも逃げてゆき(東京都/汐海岬さん)

優秀賞：健康に私の美貌支えられ(兵庫県/火星人さん)

特別賞：病名が付いて病気になる患者(福島県/遠藤剛さん)

佳作：検診のために縮んでゆく背丈(福岡県/三吉誠さん)

佳作：体重計乗る時妻の目がこわい(神奈川県/長島邦夫さん)

佳作：徘徊の噂打ち消す早歩き(大阪府/古垣内求さん)

佳作：疲れない程度にジムで汗をかき(神奈川県/竹澤聡さん)

佳作：減量中線が増える僕の家(東京都/中澤優さん)

佳作：鏡前やせていたのは夢の中(東京都/川嶋電生さん)

佳作：病気とのモグラ叩きで生きている(神奈川県/たっしゅさん)

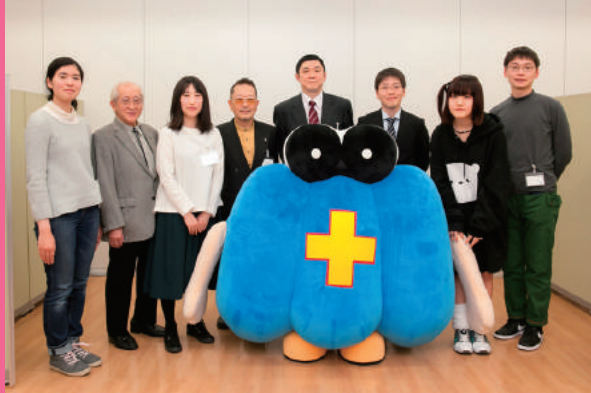
佳作：何よりの良薬になる孫の顔(静岡県/川崎博さん)

- 佳作：バリアフリーに慣れて高さを忘れかけ(千葉県/笹島一江さん)
 佳作：検診の結果を妻が知りたがる(埼玉県/野平光さん)
 佳作：問診でつい優等生演じちゃう(東京都/むーむーさん)
 佳作：健康を代弁しているいい笑顔(愛知県/さびしんぼうさん)
 佳作：無二の友体重計と万歩計(神奈川県/クジラさん)
 佳作：牛の胃のように別腹みんな持ち(千葉県/紫苑さん)
 佳作：しあわせがいつも邪魔するダイエット(奈良県/夏みかんさん)
 佳作：健康を論ず言葉に棘がある(石川県/えみんさん)
 佳作：加齢です五臓六腑のきしみです(千葉県/牛美さん)
 佳作：自分より老いた主治医を元氣付け(福井県/晴れ女さん)
 佳作：歩くたびイネをくれる我が身体(群馬県/ミルクーバさん)
 佳作：少年が飛び出しそうなおじいさん(滋賀県/しなやかーるさん)
 佳作：まだ見たい夢があるから腹八分(千葉県/梶政幸さん)
 佳作：散歩から恋が生まれる時もある(福島県/豊口卓さん)

第9回 えむぞうくん健康漫画原作大賞

「第9回 えむぞうくん健康漫画原作大賞」は、全国から405作品を応募いただきました。厳正な審査の結果、佳作4作品、優秀賞2作品、そして大賞1作品が選ばれました。

なお入賞作品は来年3月頃、電子書籍としてウェブサイト上で公開される予定です。



健康漫画原作大賞受賞者と関係者の皆さん

大賞 作品：「舌でチェック健康状態」

山口美結さんのコメント
(大阪アミュゼメントメディア専門学校)

今通っている専門学校で漫画原作に関する授業があり、その関係で今回、シナリオ形式のテキスト作品として応募させていただきました。他の応募者の方々は皆さん漫画作品を作ったので、テキスト作品の自分が入賞するのは難しかったのですが、審査員の満場一致で大賞をいただいたということで、とても感激しています。受賞の一報は専門学校から聞いたのですが、すぐに親に電話をして「受賞したよ!」と伝えました。自分の手が震えていたのを今でも覚えています。

作品内容は、自分の実体験からヒントを得ました。風邪を引いた時、喉の様子は気にしても、舌の様子はあまり見ないですよね。でも舌にも健康状態が現れていることを知り、マンガで書いてみようかなと思いついた。ためになる情報をコンパクトにまとめつつ、単なる説明に終始するのではなく、登場人物同士の会話として成り立たせるように工夫しました。

将来は、漫画原作やゲームのシナリオを作る仕事に就きたいと思っています。今回の受賞は、とても自信になりました。ありがとうございました。

健康漫画原作大賞 審査委員長

あさみさとる先生の講評 (漫画家)

今回も多数のご応募をいただきありがとうございました。

今年は全体的におとなしい作品が多かったように思います。その中で「体験談」という新しい切り口が増えてきたことは、非常に良い傾向だと思います。回を重ねるごとにフレッシュなテーマを見つけることは難しくなってきましたが、すでによく知られた知識であっても、マンガという表現方法を使うことで、より分かりやすく、幅広い世代に訴えることができると思います。それにはマンガならではの表現が伴わなければ、単なる「テキストとイラストの組み合わせ」に過ぎません。今回入賞した作品は、こうした点において優れたもの、あるいは従来にはない表現方法による作品でした。特に大賞作品は、ほぼ満場一致で決まった、非常にクオリティーの高い作品でした。

入賞作品

大賞：「舌でチェック健康状態」
(大阪アミュゼメントメディア専門学校/山口美結さん)

優秀賞：「臭い玉の巻」(九州産業大学付属九州高等学校/佃南美さん)

優秀賞：「心因性咳嗽とは？」(大阪芸術大学/増岡燈彦さん)

- 佳作：「白杖の真実」(大阪芸術大学/山下大輔さん)
 佳作：「本当は怖い親知らず」
(岐阜県立岐阜総合学園高等学校/原田汐保さん)
 佳作：「パニックピクニックへびにかまれたら」
(大阪芸術大学短期大学部/谷野静香さん)
 佳作：「動物にひっかかれた時の応急処置」
(大阪芸術大学短期大学部/小田未来さん)

第7回 えむぞうくん健康レシピ大賞

「第7回 えむぞうくん健康レシピ大賞」は、全国から797作品を応募いただきました。今からは「あいちゃんとユウキくんのおやつ部門」「おじいちゃんとおばあちゃんの昼食のおかず部門」「健康家の夕食のおかず部門」の3部門に分け、それぞれに優秀賞1作品、最優秀賞1作品が選ばれました。

なお入賞作品は来年3月頃、冊子化される予定です。また、昨年から新たにLEOC賞が設けられ、3作品が受賞。株式会社LEOCの社員食堂にて商品として提供される予定です。



健康レシピ大賞受賞者と関係者の皆さん

最優秀賞 作品：「まるごとにんじんパンケーキ」

白木沙弥さんのコメント
(三重県立相可高等学校)

今、高校の食物調理科で製菓の勉強をしています。将来の夢はホテルなどでコースのデザートを作ること。今回のレシピは、一緒に暮らしているおばあちゃんが畑で育てている無農薬野菜のニンジンを使ったお菓子をしようというところから発想しました。ニンジンを使えばパンケーキにしたら面白そうだな。無農薬野菜は香りが豊かで栄養も豊富。今回のレシピでは、特に栄養が多いと言われる皮や、葉っぱの部分も使うところが特徴です。小さい子どもはニンジンが苦手です。でも実は私も苦いのですが、パンケーキにすることで美味しく食べることができ、栄養も摂れます。

普段から家でお菓子を作ったり、家族に食べてもらうことが多いですね。「おじいちゃん、おばあちゃん、おじいちゃん、おばあちゃん」の言葉が響いて、自分も作ってみたい。今回のレシピを試作した時に、おばあちゃんにも味見してもらって「おいしい」と言ってもらいました。今はまだ1人用の小さいケーキしか作ったことがないのですが、ウェディングケーキのような大きなケーキにも、いずれは挑戦してみたいですね。

最優秀賞 作品：「里芋のお揚げコロケ」

大賞智保さんのコメント
(IFC栄養専門学校)

今回は「おじいちゃん、おばあちゃん」がテーマだったので、最近増えてきている高齢者の骨粗鬆症予防として、カルシウムを多く摂ってもらうという思い、レシピを考案しました。コロケの衣の部分にはカルシウムを多く含んでいる揚げ粉を、中身はじゃがいもや代わりには里芋を使用することで、高齢者でも食べやすいコロケにしています。自分の家にもおばあちゃんがいるので、いつまでも長生きして欲しいという願いを込めてレシピを考案しました。

栄養士の仕事するために専門学校で勉強しており、普段は家族のために、そして自分のためだけに家で料理をしています。おばあちゃんの作る料理がとてもおいしいので、それを真似して自分で作ることも多いです。それをおばあちゃんに食べてもらうことで「おいしいね」と言ってもらえるのがとても嬉しいです。おばあちゃんの得意料理は、おじいちゃん、おばあちゃんに合わせた料理は昔から家で食べていたもので、身近な食材として今回のレシピにもなりました。今回の受賞を、おばあちゃんも喜んでくれると思います。

最優秀賞 作品：「ヘルシー豆腐ウイナーポトフ」

小野寺遥香さんのコメント
(常盤大学)

私が考案したレシピがこのような賞を受賞し、しかも懇親会で多くの人に食べてもらえるというのは、初めての経験でした。1人暮らしのため自分が作った料理を誰かに食べてもらう経験があまりなくて、このレシピがみんなの口に合うかどうか、とても緊張してしまいました。

今は大学で栄養学を勉強しており、将来は管理栄養士になりたいと考えています。今回のレシピは、豆腐ハンバーグをヒントに考案しました。もともと塩分が多い加工食品のウイナーですが、ヘルシーな豆腐を材料に加工することで、塩分やエネルギーを抑えられるのではないかと。また、レシピを考えたのが寒い季節だったので、身体が温まる料理にしようと考えてポトフにしました。オリジナルの豆腐ウイナーは、普通のウイナーよりも豆腐に近い味になっています。

普段はもっとオーソドックスな料理を作ることが多いのですが、栄養バランスについては特に注意して作るよう心掛けています。1人暮らしだと野菜不足になりがちですからね。自分の健康管理も含め、もっともっと栄養について勉強していきたいと思えます。

健康レシピ大賞 審査委員長

内野美恵先生の講評
(東京家政大学ヒューマンライフ支援センター准教授)

受賞者の皆さま、おめでとうございます。今回は初めて3部門が設定され、それぞれに最優秀賞と優秀賞が選ばれました。レシピ大賞は回を重ねるごとに応募作品がレベルアップしており、選考にはとても苦労しました。選考に当たっては「おいしい」「安全に」「健康であること」をポイントとしながら、これまでにない新しい発想や、作りやすさ、見た目の楽しさなどを考慮しました。

今回入賞した作品が特に優れていた点は三つ。食べる人の立場になってレシピを考案していること。次にレシピから食べる人の情景がイメージできること。そして日本の食文化が感じられることです。これからの食文化が広く普及し、皆さまの健康と笑顔あふれる豊かな食に役立っていくことを期待しています。

入賞作品

■あいちゃんとユウキくんのおやつ部門

最優秀賞 「まるごとにんじんパンケーキ」
(三重県立相可高等学校/白木沙弥さん)

優秀賞 「トマトマカロン」
(愛知県立岩津高等学校/神谷菜々子さん)

LEOC賞 「野菜を使ったパエリア」
(細田学園高等学校/永岡さくらさん)

■おじいちゃんとおばあちゃんの昼食のおかず部門

最優秀賞 「里芋のお揚げコロケ」
(IFC栄養専門学校/大賞智保さん)

優秀賞 「ゼラチンde簡単さっぱり豆腐」
(藤/花女子高等学校/石切沙季さん)

LEOC賞 「山芋のふわふわピリカラグラタン」
(愛媛県立小松高等学校/池田愛さん)

■健康家の夕食のおかず部門

最優秀賞 「ヘルシー豆腐ウイナーポトフ」
(常盤大学/小野寺遥香さん)

優秀賞 「四季巻き〜春巻き・夏巻き・秋巻き・冬巻き〜」
(金城学院大学/阿部実佳さん、石田亜樹さん、道越彩花さん)

LEOC賞 「鶏だんごのキャベツ包みあんかけ」
(佐野清澄高等学校/小菅佳織さん)